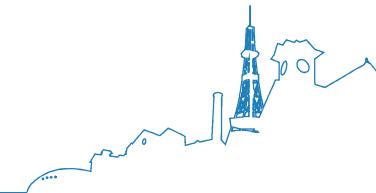


札幌市における 国際会議等誘致の取組と現況について



I 国際会議等開催の現況



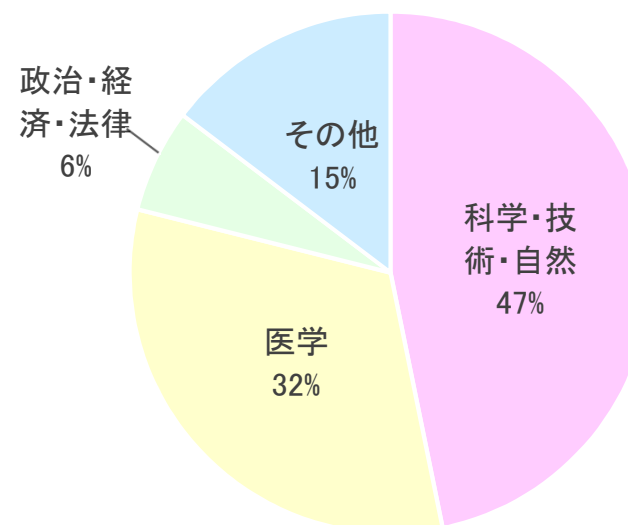
■ 国際会議の開催状況

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
JNTO基準	89件	101件	107件	115件	116件	109件	国内10位
ICCA基準	17件	22件	18件	21件	28件	20件	国内7位

【ICCAランキング（2019）】

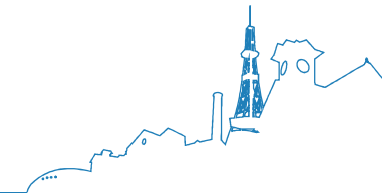
都市名	件数	国内順位	国際順位
東京(23区)	131件	1位	10位
京都市	67件	2位	35位
神戸市	35件	3位	82位
福岡市	28件	4位	108位
札幌市	25件	5位	117位
横浜市	21件	6位	143位
大阪市	21件	6位	143位

【分野別開催割合（JNTO2018）】



- 北海道大学等の市内の大学研究機関に、学術系の国際会議のキーパーソンとなる人材が集積
- 分野別では、科学・技術・自然系、医学系の割合が高い

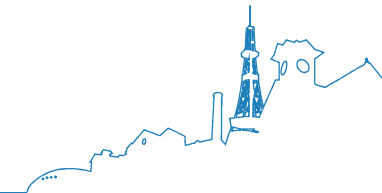
I 国際会議等開催の現況



■ 政府系国際会議の主な開催実績

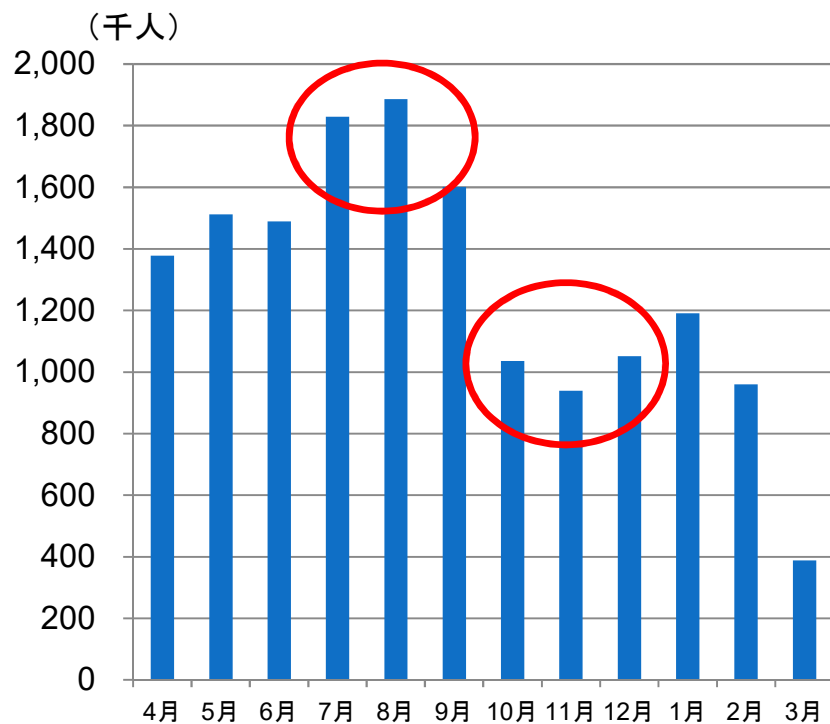
開催年月	会議名	参加者数 (うち海外参加者数)
2010年6月	2010年日本APEC貿易担当大臣会合及び関連会合	2,500人 (2,200人)
2012年6月	第27回アジア消防庁協会総会	528人 (71人)
2012年10月	第13回北東アジア港湾局長会議・北東アジア港湾シンポジウム	250人 (70人)
2013年7月	大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)統合監視措置 (IMM)作業部会及び条約改正作業部会	100人 (60人)
2013年7月	国際電気通信連合 無線通信部門 SG5 WP5D第16回会合	185人 (155人)
2013年11月	第13回日中韓特許庁長官会合	225人 (25人)
2013年11月	第4回日インドネシア交通次官級会合	70人 (40人)
2014年2月	国際電気通信連合電気通信標準化部門 第16研究委員会 (ITU-T・SG16会合)	232人 (146人)
2015年9月	第7回日・ASEAN諸国防衛担当局次官級会合	50人 (47人)
2018年1月	第3回日・ASEAN航空協定交渉会合	34人 (25人)
2019年12月	第7回中小企業協力に関する日露会合	103人 (22人)

I 国際会議等開催の現況



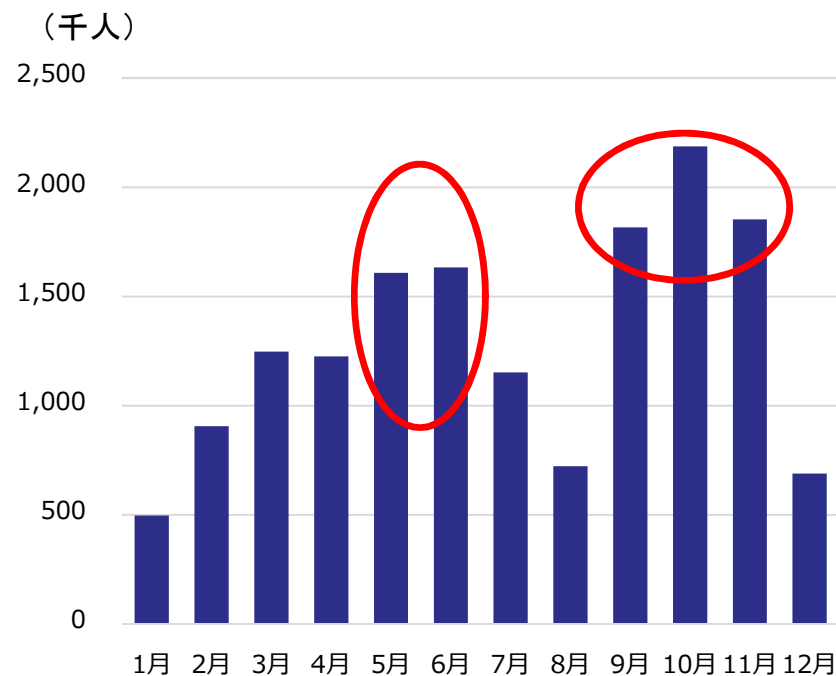
■ 月別の動向

【来札観光客数（R元年度）】



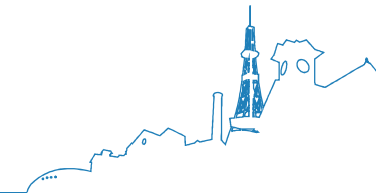
【国内における国際会議の参加者数】

(2009～2018年の累積)



- 札幌観光のハイシーズンは7月～8月で繁忙期と閑散期の差が大きい
- 8月（188万人）と11月（93万人）では観光客が半分以下に落ち込む
- 国内における国際会議の参加者数が多い時期は春、秋に集中
- 国際会議等の誘致は札幌観光における閑散期の落ち込みを底上げするために、開催時期も意識しながら活動

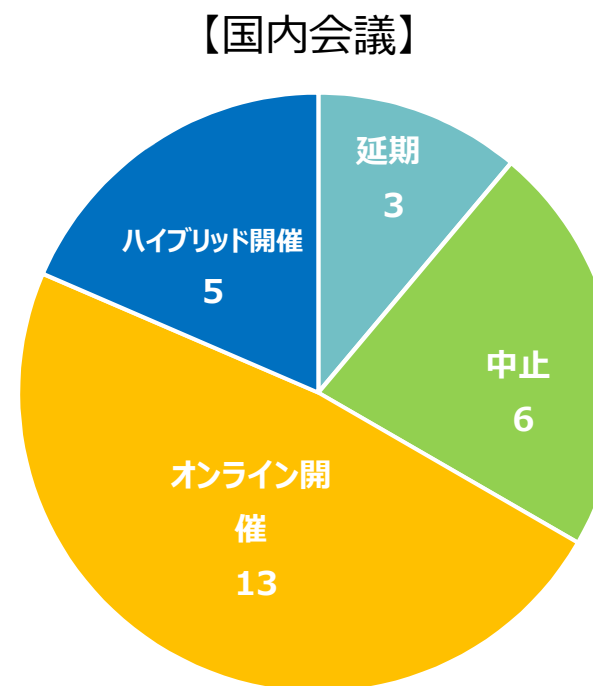
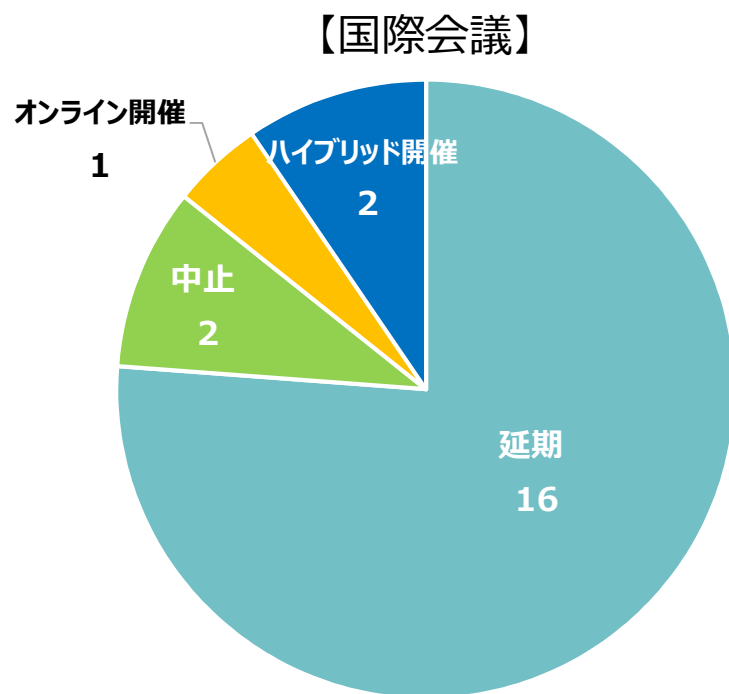
I 国際会議等開催の現況



■ 新型コロナウイルスの影響

令和2年10月現在
札幌コンベンションビューロー把握分

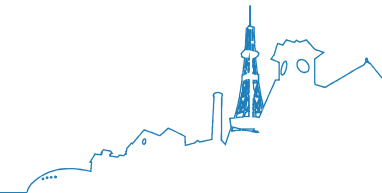
・今年度札幌市内で開催予定であった会議の状況



- 数年に一度開催される国際会議については、来年度以降へ延期する会議が多い。
- 一方、国内会議についてはオンラインでの代替開催が積極的に行われている。
- 今後、会議のハイブリッド化が進むと考えられるため、一定規模以上のハイブリッド会議の開催支援策の早期実施に向けて現在検討中。

※国土交通省主催「日ASEAN次官級交通政策会合」を令和2年7月に開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により9月15日WEB会議で実施することとなった。現在、令和3年度開催に向けて調整中。

Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ 誘致・セールス活動

見本市・商談会における誘致

- 国土交通省北海道局、北海道と連携した誘致活動及び情報収集（政府系国際会議）
- 国内外のMICE専門見本市・商談会でのセールス（国際会議、学会）
- 国際会議主催者等のキーパーソン招請（国際会議、学会）

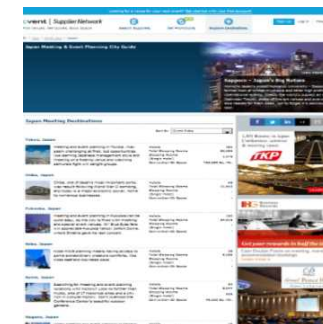


海外メディアへの広告掲載

- 海外のMICE専門誌やWeb版の広報媒体を活用し、札幌の会議施設、ホテル、ユニークベニュー等、札幌の魅力をPR



海外の国際会議主催者等を対象としたMICE専門誌「Head Quarters」

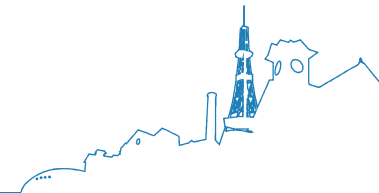


世界各都市の情報を掲載したデータベース「Cvent」

グローバルMICE強化都市

- 2015年に観光庁により「**グローバルMICE強化都市**」に選定されたことから、現在、国とも連携しながらMICE誘致力を強化

Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ 開催支援・おもてなし

開催支援プログラム

- 外国語ボランティア
(インフォメーションデスクの設置、エクスカーション等でのガイド)
- 日本文化体験ボランティア
(茶道、着物着付、書道等の体験プログラム)



ユニークベニュー

- 札幌の多彩な観光資源を活用したユニークベニューの提供

«過去の活用事例»

大倉山ジャンプ競技場、モエレ沼のガラスのピラミッド
JRA札幌競馬場 など



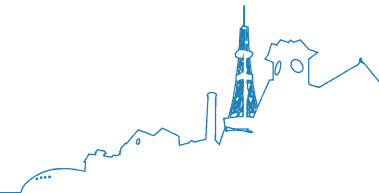
Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 主な会議開催エリア



Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 札幌コンベンションセンター

- 敷地面積 41,019m²
- 延床面積 20,310m²
- 構造 地下1階・地上3階（RC造、一部SRC・S造）
- 供用開始 平成15年6月
- 指定管理 SORA-SCC共同事業体（株）コンベンションリンクージ、（株）東洋実業



■ （仮称）新MICE施設

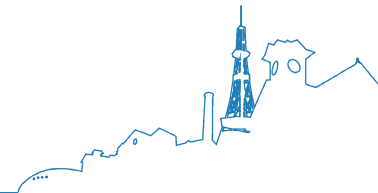
- 整備地 中島公園駅周辺地区
※地下鉄さっぽろ駅から5分、すすきのまで徒歩圏内
- 面積 ・専有部分25,500m² ・共用部面積19,400m²
- 特徴 ①ホテルとの合築 ②地下鉄駅と直結

主な諸室	面積	室数
メインホール	2,000m ² 程度	1室
展示場	4,000m ² 程度	1室
会議室	合計2,000m ² 程度	7室程度

※会議室については、別途ホテル棟に合計3,000m²（8室）程度を整備予定

- 供用開始時期
2026年度末（予定）

Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 宿泊施設

札幌市内のホテル	
○ホテル数	205軒
○客室数	28,164室
○定員数	54,215人

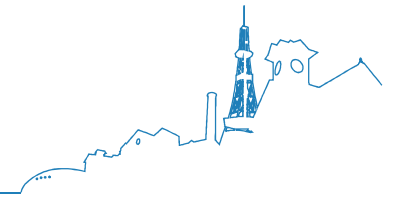
- 【札幌駅エリア】**
- ・JRタワーホテル日航札幌（342室）
 - ・京王プラザホテル札幌（493室）
 - ・ANAクラウンプラザホテル札幌（412室）
 - ・センチュリーロイヤルホテル（300室）など

- 【すすきの・中島公園エリア】**
- ・札幌パークホテル（216室）
 - ・プレミアホテル・TSUBAKI・札幌（322室）
 - ・ホテルマイステイズプレミア札幌パーク（419室）
 - ・プレミアホテル中島公園札幌（228室）など

- 【大通公園エリア】**
- ・札幌プリンスホテル（587室）
 - ・ロイトン札幌（294室）
 - ・札幌ビューホテル大通公園（347室）
 - ・札幌グランドホテル（504室）など



Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ お問い合わせ先

- 札幌市経済観光局観光・MICE推進部
 - ・ TEL : 011-211-2376
 - ・ e-mail : kanko@city.sapporo.jp

- 公益財団法人札幌国際プラザ・コンベンションビューロー
 - ・ TEL : 011-211-3675 (札幌)
 - 03-3216-5090 (札幌市東京事務所内)
 - ・ e-mail : convention@plaza-sapporo.or.jp